

## 令和3年度第1回半田市障がい者自立支援協議会議事録

開催日時	令和3年6月14日（月）	10時00分～12時00分
開催場所	オンライン会議・雁宿ホール第3会議室	
会議次第	<p>1. 会長あいさつ</p> <p>2. 報告事項</p> <p>（1）令和2年度活動報告・令和3年度年間計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就労部会</li> <li>・子ども部会</li> <li>・地域包括ケア部会</li> <li>・権利擁護部会</li> <li>・医療的ケア支援に係る検討会</li> <li>・行動障がいに係る支援体制検討会</li> <li>・学生に関する検討会</li> <li>・相談支援連絡会</li> <li>・事業所連絡会</li> <li>・現場職員向け研修</li> </ul> <p>（2）令和2年度障がい福祉サービス等の利用実績について</p> <p>（3）令和2年度半田市障がい者相談支援センターの実績報告について（基幹相談支援、委託相談支援）</p> <p>3. 協議事項（グループワーク）</p> <p>（1）半田市緊急時・災害時対応プラン（案）について</p>	
出席委員 （ ）は欠席	<p>田中和彦、立石佳輝、藤田理格、金森大席、中野直哉、大田優子、井上将志、（森田貞子）、山崎千佳、（村松加苗）、（鋤田素羽）代理鈴木誠司、高橋英数、竹内稔晴、杉森英子、矢野昭男、山本加代子、石川茂子、岡崎将司、（柴田幸子）、杉江徳長</p> <p>※敬称略</p>	
市関係	市関係者出席なし。	

事務局	<p>地域福祉課長：杉江、子育て支援課長：伊藤  地域福祉課 主査：寺嶋、主事：新海、主事：富田  子育て支援課 主査：佐藤、書記：梁川、書記：加藤  半田市障がい者相談支援センター長：加藤  副センター長：徳山</p>
次 第	議事概要
1. 会長あいさつ	<p>(田中会長)</p> <p>昨年度は、第3期半田市障がい者保健福祉計画及び第2期半田市障がい児福祉計画の策定につきまして、ご協力ありがとうございました。今年度も、半田市の障がい者・児福祉について皆さんからの意見をいただきながら考えていきたいと思えます。新型コロナウイルスの状況をふまえ、今回はオンライン会議で行いたいと思えますのでよろしくお願いたします。</p>
<p>2. 報告事項</p> <p>(1) 令和2年度活動報告・令和3年度年間計画について</p>	<p>●就労部会（立石委員）資料：P 1、2</p> <p>令和2年度は、コロナの影響により一部変更した。就労系事業所、生活介護事業所の職員に向けて工賃向上研修を実施した。</p> <p>令和3年度は、令和2年度に実施した工賃向上研修のフォローアップ研修を行う予定。また、企業の見学、体験、実習を通して就労移行からだけではなく、A型・B型事業所からも企業への就職につなげたい。</p> <p>～就労部会に関係ある委員に質問～</p> <p>(事務局) 半田公共職業安定所：コロナ禍における障がい者の就職・退職や求人等について、どんな変化があるか。</p> <p>(高橋委員) コロナ禍において、一定の距離を保たないといけないため、就労の体験がしにくい状況。企業から実習や見学について難しいと回答をもらうことあり。</p> <p>(事務局) 半田商工会議所：コロナ禍における中小企業の動きについて。</p> <p>(竹内委員) 大企業も含め、製造業などは人を休ませて補助金をもらうことで維持していたり、飲食店では、お店を休んだり、閉めたりしているところもるため、就労雇用体験等は難しい状況。</p> <p>(事務局) ひいらぎ特別支援学校：重度身体障がい者の就労支援に関して、生徒・保護者・先生方の葛藤や悩みなどあるか。</p>

(鈴木先生) 就労継続支援 A 型・B 型事業所、企業への就職などを希望する生徒が多少いるが、知能的には仕事は可能であっても、身体的に移動が難しい場合が多く、希望が叶わないことが多い。また、生活介護事業所に行く生徒が多いが、そちらがもっと充実すると、行き先が増えて生徒の希望に沿えるようになる。

●子ども部会 (藤田委員) 資料：P 3、4

令和 2 年度は、スキルアップのため、支援者向けの研修を全 4 回オンライン形式で実施した。事業所見学バスツアーについてはコロナの影響により実施できなかったが、他は概ね実施できた。

令和 3 年度実施は、恒例の活動に加えて新たに 2 点。

1 点目、保護者向け事業所見学バスツアーの実施。

2 点目、児童発達支援事業所等の職員とともに WG を発足し、行政と民間で力を合わせ支援者のスキルアップのための企画や運営を行っていく。

●地域包括ケア部会 (中野委員) 資料：P 5、6

令和 2 年度は、地域生活支援拠点ワーキンググループと地域移行ワーキンググループの 2 グループで活動した。地域移行ワーキンググループの活動として、実際に精神科病院に入院されている方や、施設入所されている方たちが地域移行した後どのような生活ができるのかをイメージしやすいように、経験者にインタビューをして動画を作成した。

令和 3 年度は、その動画を精神科病院や入所施設で活用してもらい、地域移行につなげていく。

～地域包括ケア部会に関係ある委員に質問～

(事務局) 一ノ草病院：地域移行の関係や、コロナ禍での入院・外来患者の様子について。

(井上委員) 退院支援時、コロナの影響により施設の見学があまりできない状況。動画について、全部見たが、これを見ることにより地域移行が進むとよいと思う一方で、施設入所の方がこれを見てどこまで理解ができるのかという懸念も残った。自分の思いを語れない方もいるので、動画を作成するうえで、そういう方への工夫も必要であると感じた。

(事務局) 半田保健所：昨年度は入院患者への面談等に保健所の方も同行いただくことがあったようだが、今年度も可能であれば同行いただきたいと考えている、そこで感じたことについて。

(山崎委員) コロナ禍で厳しい状況がまだ続くと思われるが、病院にも協力していただくことなので、相談しながら面談等できるときを見計らって行っていきたい。

(事務局) たんぽぽ家族会：コロナ禍での精神の方やご家族が感じる変化や不安などについて。

(石川委員) 本人や家族がコロナに感染しないようにとても神経を使った。本人が感染したという報告は今のところない。事業所に通ったり、家族と過ごしたりしている。

(事務局) 動画について、12分程。半田市ホームページから見られるようにする予定。

●権利擁護部会（金森委員）資料：P7、8

令和2年度は、エールチケットを使った合理的配慮の事例の情報収集や、当事者向けの虐待のワークショップを行った。

令和3年度は、収集した合理的配慮の事例を冊子化する。また、就労移行支援事業所に出向いて当事者向けの虐待防止と差別解消のワークショップを実施する。

～権利擁護部会に関係ある委員に質問～

(事務局) ピアコネクトはんだ：権利擁護部会とピアコネクトはんだと共同で、1月に市民団体向けの研修を予定しているが、こうした活動を広げていく中でのピアの皆さんの反応について。

(杉江委員) ピアの皆さんの中でも精神の方などこういうことに参加したくないという方もいる。しかし、差別解消や虐待防止について、啓発活動はしていかななくてはいけないので、ピアコネクトはんだとしてはやっていく。

(事務局) 半田手をつなぐ育成会：権利擁護部会が障がい当事者向けの研修を実施していく予定だが、育成会では、会の活動として研修を行う予定だと聞いている。どんな内容を行う予定か。

(山本委員) 社協の方などを招いて当事者の親向けに研修を予定している。役員会での話で、虐待をしているのは家族が多

ということなのでその点についても話し合い考えていく。

(事務局) 半田市身体障害者福祉協会・半田市肢体不自由児・者父母の会：当事者の方々の集まりとして、各委員から当事者向けの研修で期待することなど、感じることはあるか。

(矢野委員) 知的障がい者の支援をしているが、当事者が就職する年齢になったとき、企業にお願いして研修期間を設け、継続できそうならそのまま就職するという支援を行っている。昨年度は2人研修をしたが、そのうち1人就職につながった。

(杉森委員) 虐待については今のところ聞いていない。今はコロナ禍での生活について心配しており、会で集まることができない。連絡網を作って役員がそれぞれ生活状況の聞き取りを行っている。

●医療的ケア支援に係る検討会（事務局：佐藤）資料：P 9、10

令和2年度は、医療的ケア児が地域で保育や教育を受けられるよう検討会の下部組織として、保育・教育の保証に係る検討部会を立ち上げ、4回にわたり議論を進めてきた。受け入れ側の幼稚園、保育園、小中学校における、実際に受け入れるときの課題や必要な人員配置など具体的な検討を行った。また、令和2年度から医療的ケア児が所属する保育園等に看護師を派遣し、医療的ケアを実施する看護師派遣事業に対し諸課題について協議し、実際に1名に対して実施された。

令和3年度は、引き続き保育・教育の保証についての検討、災害時の個別避難計画の策定など各課題の支援に向けた協議を行っていく。

●行動障がいに係る支援体制検討会（事務局：富田）

資料：P 11、12

令和2年度は、例年実施していた支援者に対する養成研修をコロナの影響により中止したが、基礎・実践のフォローアップ研修は実施した。

令和3年度は、基礎研修・実践研修・フォローアップ研修全てオンラインで開催する。

～行動障がいに係る支援体制検討会に関係ある委員に質問～

(事務局) わたぼうし：先日、基礎研修をオンラインで実施

した。参加者の反応はどうか。

(大田委員) 今回は、初心者にも分かりやすいプログラムにしたので、実践しやすくなっている。参加者の理解度も上がっているのではないかと期待している。全行程終了後のアンケートがあるので、反応を確かめたいと思う。

●学生に関する検討会（事務局：新海）資料：P 1 3

令和2年度は、コロナの影響により学生が参加できなかったため、活動はほとんどなし。

令和3年度は、日本福祉大学の教授と話し合い、授業の中で学生の視点でどんなことができるか話し合ってもらい、学生主体で様々なイベントを実施していく。

～学生に関する検討会に関係ある委員に質問～

(事務局) 瑞光の里：日本福祉大学の学生向けに実施する、本年度のウェルフェアワークスについて。

(岡崎委員) 現在、福祉の勉強をしている日本福祉大学の学生（他の学生も可）に向けて、事業所の若手職員たちが福祉のいいところを発信している。コロナの影響により、全4回、小規模で半田市と美浜町で実施する予定。合わせて実習などもできるよう検討している。

●相談支援連絡会（事務局：徳山）資料：P 1 5、1 6

令和2年度は、事例検討・勉強会を実施した。

令和3年度は、毎月事例検討を実施していく。また、それと合わせて多職種との連携をするため他分野交流を行っていく。それに加え、3回勉強会を実施し相談支援のスキルアップを図っていく。

●事業所連絡会（事務局：徳山）資料：P 1 7、1 8

令和2年度は、オンライン研修を実施した。

令和3年度は、報酬改定の勉強会を4月に実施した。また、9月にヘルパー人材不足に係る勉強会を実施予定。11月に事業所が地域と一緒に避難訓練ができるように勉強会を実施予定。ピアサポーターが今年度から福祉サービスとして位置づけられたため、それに関する勉強会、BCPと虐待防止審議会についての勉強会を実施する。

	<p>圏域会議で「言伝」を作成した。入院中で福祉サービスを利用していない方などに、地域の情報をお伝えするために作成した。QRコードを読み取ると動画を見ることができる。</p> <p>●現場職員向け研修（事務局：新海）資料：P 19、20 事業所の若手職員などに対して、障がい特性の理解や支援のポイントを学んでもらうための全体コースの研修。昨年度に引き続きオンラインでの研修を実施する。</p> <p>【質疑応答】 なし</p>
<p>(2) 令和2年度の障がい福祉サービス等の利用実績について</p>	<p>資料：P 21～32</p> <p>●障がい福祉サービスについて（事務局：富田）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（訪問系）利用人数については、減少傾向、利用量の増については重度訪問介護の一人当たりの利用量が増えたことによる。</li> <li>・（日中活動系）就労移行・就労継続支援B型については、コロナの影響はなく、これまでの傾向通り人数、利用量ともに伸びている。</li> </ul> <p>短期入所については、コロナの影響により年間を通して人数、利用量ともに減少した。</p> <p>●障がい児福祉サービスについて（事務局：梁川）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（通所サービス）児童発達支援については、人数の増加があり、これは民間事業所での増加によるもの。利用量については、コロナの影響により4・5月の利用が減少したことにより月平均が前年度より減少した。</li> </ul> <p>放課後等デイサービスについては、人数、利用量ともに前年度から横ばい、今後も同じような傾向になると考える。ただ、新1年生の分は増加すると見込む。</p> <p>保育所等訪問支援については、新規事業所開設により、人数、利用量ともに増加した。また、今年度も1か所開設予定のため増加する見込み。</p> <p>居宅訪問型児童発達支援、相談支援ともに前年度とほぼ変わりなし。</p>

	<p>●地域生活支援事業について（事務局：富田）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動支援事業について、4・5月の緊急事態宣言中の利用が大幅に減少したため、前年に比べ人数、利用量ともに減少した。</li> <li>・地域活動支援センターについては、令和2年度に市内に1か所設置したため、今後利用者を増やしていきたい。</li> <li>・日中一時支援については、A型がコロナの影響により減少した。</li> </ul> <p>【質疑応答】</p> <p>なし</p>
<p>(3) 令和2年度半田市障がい者相談支援センターの実績報告 （基幹相談支援、委託相談支援）</p>	<p>資料：P 33～44 （田中会長）</p> <p>令和2年度半田市障がい者相談支援センターの実績報告について、事務局からお願いします。 （事務局：加藤）</p> <p>●障がい者相談支援事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談件数について、4・5月はコロナの影響を受けて減っている。緊急事態宣言中は減り、それが明けると新規の相談が増える傾向にある。そのため、1年を通して見ると通常より新規の相談件数が増えている。</li> <li>・ピアカウンセリングについて、講座やピアサロンに関しては、緊急事態宣言中は実施を避け、感染対策をしながら行った。「はたらく未来の会」についてはコロナの影響により実施できなかった。ピアの集いは感染対策をしながら実施した。</li> <li>・就労・就業に関する支援については、一番コロナの影響が大きく、退職する方が多かった。また、実習がなかなかできず、就職者数も例年に比べ少なかった。</li> </ul> <p>●基幹相談支援センター事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケース会議などへの立ち合いを多く行った。新規の事業所の立ち上げのフォローアップや虐待の研修など事業所支援を行った。</li> <li>・虐待防止について、通報件数が半田市は多いが、これは虐待が多い訳ではなく、事業所、養護者、当事者それぞれに研修が行き渡り、虐待についての理解が深まった結果、疑いの段階でも連絡が入るようになったと考える。</li> </ul>



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自立支援協議会について、Zoom を利用し開催している。</li> <li>・ 児童発達支援センターについて、発達支援相談「あゆみ」に職員を派遣しフォローアップを行っている。</li> <li>・ 委託相談の件数について、減少しているが、理由は毎日電話相談があった方が福祉サービスに繋がり、計画相談に移行したことによる。</li> </ul> <p><b>【質疑応答】</b>  (杉江委員)</p> <p>ピアサロンを実施しており、通常はお茶とお菓子を用意しているが、現在はお茶のみにしている。  コロナ禍での実施に不安があるが、参加者はたくさんおり、必要性を改めて感じている。</p> <p>(田中会長)  これで報告事項は全て終わりとなります。</p>
	<p style="text-align: center;">～ 5 分間休憩 ～</p>
<p>3. 協議事項  (1) 半田市緊急時・災害時対応プランについて(案)の作成</p>	<p>資料：P 4 5～6 4  (田中会長)</p> <p>3. 協議事項(1) 半田市緊急時・災害時対応プランについて(案)の作成に進みます。  事務局から説明をお願いします。  (事務局：加藤)</p> <p>半田市緊急時・災害時対応プラン(案)(以降、プランという)について説明します。</p> <p>これについて作成する経緯として、ここ最近、高齢の家族が障がいのある方をケアしており、家族が急に入院したり、そのまま亡くなってしまいうというケースが年に何件も発生している。そういった場合でも障がいのある方の支援をスムーズに行えるようにしておくことが必要であると痛感している。それに加え、災害時において、障がいのある方がどのように避難するのかということも確認しておく必要があるため、サービス等利用計画の策定時に一緒に作成していきたい。また、このプランを策定する際、改めて有事に備えてこのサービスを受けていくとよいなど、計画に反映させていけるとよいと考えている。</p>

これについて、委員のみなさんからプラン（案）について様々な意見を頂きたい。

（事務局：寺嶋）

半田市緊急時・災害時対応プラン（案）について、委員さんに意見を頂きたい。4 グループに分かれて話し合ってください。

（中野委員）

18歳未満も対象となるか。

（事務局：加藤）

18歳未満も対象です。

～グループワーク～

#### ●各グループ発表

##### Aグループ

- ・全体的に記入する内容が多いが、服薬に関する事など入れた方がいい情報もある。
- ・内容の更新について、最新の情報でないと混乱する。更新の頻度について決めておいた方がよい。
- ・情報の共有について、関係各所・医療にも事前に提供しておく準備ができたり、服薬の協力が得られる。

##### Bグループ

- ・かかりつけ医や服薬の情報が記入できるとよい。
- ・更新の時期について、明確化した方がよい。
- ・災害時の避難支援に関する項目で、こだわり、パニック等の行動の有無について、別紙に詳細に記入できるとよい。  
（人によっては、飛び跳ねる等の行動がある。避難所等で回りの人はびっくりするが、その行動によって本人は落ち着くという場合がある。など詳細なことが分かるようにできるとよい。）
- ・自力で企業や事業所に行っているときに、災害が発生した場合、どのような手段や経路で普段通っているか分かるとよい。
- ・緊急時（自然災害時以外）の欄のフローチャートが分かりにくい。

##### Cグループ

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 普段、家族が行っている支援や利用している医療機関を項目として入れた方がよい。</li> <li>・ 難病の方や医療的ケアが必要な方の機器やその電源について、記入の項目や関係者に対する情報の共有についての有無。</li> </ul> <p>Dグループ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当事者家族の意見として、民生委員や支援員など立場がある方をお願いしにくい。東海市が行っている情報として、近所の方と覚書を交わしている。</li> <li>・ 事業所側の意見として、この情報を事業所にもほしい。また、後日今回出た意見をまとめて報告する。</li> </ul>
	<p>(田中会長)</p> <p>報告事項・協議事項ともに、今日委員の皆さまから頂いた意見は整理のうえ、各事業に反映できるよう話し合っていきます。オンラインでの会議にも関わらず、委員の皆さまの積極的なご参加ありがとうございました。</p> <p>(事務局：杉江)</p> <p>現在市では、災害対策基本法に基づき、避難行動要支援者名簿を作成しているが、その名簿を作成している方たちの個別避難計画を策定することが同法で努力義務となった。同じようなものを何度も作成していただく手間を省くため、今回意見を頂いた半田市緊急時・災害時対応プランを個別避難計画として利用できるようにしたい。</p> <p>次回の開催は12月22日（水）の午前中を予定しています。以上を持ちまして令和3年度第1回半田市障がい者自立支援協議会を終了します。</p>